

CREATION

CITIZEN MACHINERY'S FA VIEW: クリエーション

Number **25**

特集

営業新体制スタート

CITIZEN



「個の量産」
いろんな一つを、たくさんつくる

お客様の発展に貢献する挑戦・取り組みを続けてまいります

はじめに、この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方や影響を受けている皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。先の見えない状況により、一部でご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、機械メーカーとしてお客様の工場の操業を最大限支えるべく尽力してまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

現在、シチズンマシナリーの日本国内工場は通常通り操業しており、サービス出動について一部に制限が掛かるものの、サービス受付やパーツセンター（保守部品

対応）も通常稼働し、万全な体制でお客様の支援をさせていただいております。先行きの見通せない状況下におきましても、弊社製品の販売にご尽力いたしております販売店の皆さま、そして弊社製品をご愛顧くださっておりますお客様に深く御礼を申し上げます。

さて、2020年度はコロナショックの影響が拡大し、日本のGDPに及ぼす影響は、リーマンショックや東日本大震災よりも大きくなると報道されています。シチズンマシナリーでもその影響は免れませんが、世界中が混乱している今こそ、当社のミッション「革新的なモノづくりの実現を通して、お客様の安心と成長、そして世界中の製造業の発展に貢献する」を果たしていく時だと思っております。その具体策として、高付加価値の創出を目的としたLFV搭載機の水平展開、L20-ATC機、摩擦接合の商品化など、新技術の市場投入を目指してまいります。また、alkappliesolutionの更なる推進を目的に、顧客支援ICT推進室の新設及び、MC20・GN製品群を新・自動盤部として独立させ、お客様の要望に対し、より柔軟に、より迅速に応える体制へ強化いたしました。12月のJIMTOF東京にて、最新鋭の機械・技術・サービスを皆さまにご覧いただけるように準備を進めておりましたが、この度の開催中止決定を受け、これに代わる方法で皆さまにご覧いただける場を現在検討しております。詳細につきましては改めてお知らせいたしますが、皆さまにお目にかかれることを楽しみにしております。

世界中が目に見えない脅威と戦う不安な時ではございますが、シチズンマシナリーは、お客様の発展に貢献することを目指して、歩みを止めることなく、次なる飛躍に向けた挑戦・取り組みを続けてまいりますので引き続き皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



シチズンマシナリー株式会社 代表取締役社長

中島 圭一

2020年度の営業本部組織体制について

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

グローバルでの製造業界では米中貿易摩擦等により2019年は減速基調が続く年となり、本年年初からは新型コロナウイルスの世界的感染拡大によって過去に例を見ない市況の減速感が強まっています。

このような環境の中において、営業本部では皆さまにより良い製品とサービスを継続的に提供するため、本年4月より新たな組織で運営を開始いたしました。

新たに伊奈秀雄を執行役員 営業本部副本部長に任命し、加工技術を担うソリューション推進部と国内・海外のサービスの担当役員として、より迅速に皆さまのご要望にお応えいたします。

新たに2つの部と室を新設いたしました。MC20シリーズやGNシリーズは多種の自動化対応などの特殊仕様がいく多く、汎用型自動盤とは製造・サービス対応が異なることから、新・自動盤機種の製造・保守サービスを一体化した専任組織として「新・自動盤部」を新設して皆さまのご要望に適切にお応えいたします。

また、alkapplysolutionを中心としたアフターマーケット事業をさらに推進すべく、「顧客支援 ICT推進室」を新設し、年々皆さまの関心が高まっているICT・IoTを活用したソリューション提案を充実します。

多軸自動盤に関して、「多軸エンジニアリング部」を設立し、製造/オーバーホールなどの生産から販売・保守まで一貫してシチズンマシナリーで対応することといたしました。

また、国内営業部ではソリューションセンター長、営業所長の配置転換を行い、設計・加工技術者と連携し

てお客さまや販売店の皆さまに最新・最適な技術提案を行える体制としました。

今後市況の回復に向けてシチズンマシナリーはお客さま、お取引先さまや社員とその家族の安全を確保するとともに、お客さまのご要望に応じた最善の対応を速やかに実施してまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



取締役 執行役員 営業本部 本部長

窪田 守

お客さまに信頼されるパートナーを目指します

世界経済が混乱している中、私共は機械メーカーとしてお客さまが常に安心して生産設備を稼働できるよう、アフターメンテナンス体制に万全を期すことはもちろん、将来の機械設備のあるべき姿に関しても最新の情報を盛り込んだご提案をさせていただきたいと準備してまいります。

この4月1日より執行役員 営業本部副本部長の職を拝命し、主にアフターサービス部門、ソリューション推進部門、海外テクニカルサポート部門を担当させていただくことになりました。

アフターサービスに留まらず、現在から将来に渡ってお客さまの生産設備に関するトータルソリューションなど幅広くご提案をさせていただきたいと考えております。

今後もより一層お客さまに信頼されるパートナーとなることを目指して、お客さま・販売店の皆さまのご意見ご要望を大切に、弊社製品を末永くご愛顧いただけるよう粉骨砕身業務に取り組んでまいりますので、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



執行役員 営業本部 副本部長
伊奈 秀雄

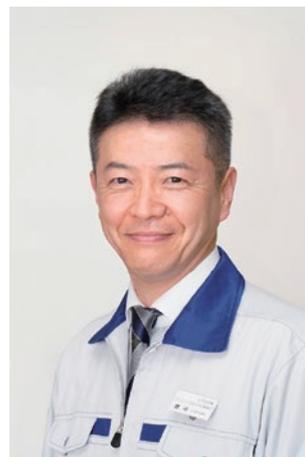
社内システムの刷新と体制の強化に努めます

日頃より別格のご愛顧とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

年初より全世界的に影響を与えているコロナウイルスの影響によって、お客さまにおかれましても大きな不安の中での生産活動に大変ご苦労されていることと存じます。このような環境の中で弊社としましては、お客さまのさまざまなご要望に迅速にお答えするため、LFVや摩擦接合などの新しい技術と機械開発を軸に、alkappliesolutionを中心としたデジタル技術のご提供や品質向上に向けた生産工場革新など多くの取り組みを進めております。また、

お客さまと直接対応させていただく営業やサービス部門においてはより迅速で的確な対応を目指し、社内システムの刷新と体制の強化に努めてまいります。

私事ではございますが、4月1日付で執行役員 経営企画部部長の職を拝命いたしました。営業・製造・開発それぞれの役割を繋げてお客さまと販売店さまの発展に最大限貢献し、これまで以上に信頼していただける機械メーカーとなるよう業務に邁進してまいります。今後ともご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



執行役員 経営企画部 部長
露崎 梅夫

グローバルソリューションセンター開設



お客様の求める「したい」をご提供するために

「今よりもっと生産効率を上げたい」、「将来に向けた生産設備のあるべき姿を模索したい」、「長年の課題を今こそ解決したい」このような、多岐にわたる世界中のお客様の求める「何か」にお応えできるよう、グローバルソリューションセンターを開設いたしました。グローバルソリューションセンターは“挑む・創る・発信”をキーワードに活動してまいります。“挑む”とは、これまでにない加工技術開発に挑んでいくことです。“創る”とは、お客様にすぐに活用していただける技術として新たな技術の創出に努めることです。“発信”とは、これらの技術をご来場いただいたお客様、世界中のお客様に発信していくことです。これからも既存の技術にこだわらず、新たな切り口で提案できる場としてご活用いただけるよう取り組んでまいります。さらに、最新の機械展示やテストカッ



加工技術ショールームでは、alkappliesolutionのコンテンツを体験したり、LFV技術や偏心ターニングなどの加工技術をご覧になれます。

トの実施などこれまでの機能に加え、新たに国内外におけるすべてのソリューションセンターと、テックセンターの中心的な役割を担い、日本発の技術のみならず、世界各地の拠点が手掛ける事例などもご紹介してまいります。

また、人と機械をつなぐICTやAI、シミュレーションを駆使したお客様の生産革新の提案をしてまいります。今後のグローバルソリューションセンターにぜひご期待ください。

きっとお客様の求める何かが見つかるはずです。社員一同皆さまのお越しをお待ち申し上げております。

執行役員 営業本部 副本部長 伊奈秀雄

すべてはお客さまのために

4月1日、拠点長の配置転換をおこないました。地域や経験にとらわれることなく、拠点長自身が得意なスタイルを生かせる場所に移り、現時点での国内営業部の最高のパフォーマンスが発揮できる布陣となりました。残念ながらコロナ禍の影響で実際の異動が遅れていますが、新しい拠点長をぜひともよろしくお願ひします。

今年の国内営業部は「すべてはお客さまのために」、この言葉を胸に、お客さまの要望にはすべて「はい」と答えられるように頑張ります。目標は「チャレンジ」です。誤解を恐れずに言うならば「どんどん問題を起こせ」と伝えました。慣れてくると安全をみて消極的になり、ついつい「できません。難しい。」と言ってしまいがちですが、お客さまの思いを形にするためにも、果敢にチャレンジすることを目標としました。社内も全面的に営業に力を貸してくれる体制になってきました。

国内市場は必ず復活します。皆さまとともに日本のモノづくりの火を消さないために頑張ります。ご協力よろしくお願ひします。



営業本部 国内営業部 部長

橋 久尚



お客さまに満足していただくために

名古屋ソリューションセンターには95年から10年間在籍をし、15年ぶりに西日本ソリューションセンターから復帰致します。離れた時間を早期に埋め、経験を生かして皆さまのお力になれるように努力いたします。

自動車産業を中心とするモノづくりが盛んな中部地区は、自動盤の競合メーカーがひしめく激戦地であり、お客さまの満足度向



上を中核に据えて競い合う所存です。それには、お客さまや販売店さまをより多く訪問して、弊社の課題はスピーディーに改善し、良い面はさらに伸ばすことが肝要なことと考えます。

市況は長引く景気低迷による生産減少で厳しさが増し、特に自動車産業はEV化や自動運転など大変革期であると思われませんが、皆さまのお役に立てるよう精いっぱい頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



名古屋ソリューションセンター 長

榎本 武史

改めましてよろしく申し上げます

「ただいま!」という事で6年振りに諏訪営業所に復帰することになりました。懐かしい顔にお目にかかるのが今から楽しみです。改めましてよろしくお願ひいたします。

最初の諏訪営業所勤務は18年前。シチズン時計精機事業部とシチズン精機が統合された年でした。シンコムを語るうえで外せない地域であり、またITバブル崩壊直後という状況の不安ばかりでの赴任でありました。

しかしながら皆さん親身であり多業種に渡る部品加工、粘り強く研究熱心なところから1番回復も早かった地域だと記憶しています。

現在の「コロナ不況」とでも言える状況でも、1番に回復を望める地域だと信じています。そのために微力ではありますが皆さまのお役に立てるようご協力させていただきます。

最後となりますが、後ろ髪を引かれたまま名古屋を離れることとなりましたが在籍中は皆さまに大変お世話になりました。この場をお借りしまして御礼申し上げます。



諏訪営業所
所長

青木 鉄也

西日本地区のより一層の発展をお客さまと共に!

去る4月1日付の人事異動により、西日本ソリューションセンターに赴任することとなりました。東日本ソリューションセンター在任中は、長期に渡り数多くの皆さまから多大なるご厚情を賜りましたこと、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

国内営業に従事して20余年、関東、甲信越、中部といくつかの拠点で勤務してまいりました。関西を代表とする西日本地区への赴任は一度も経験がなく、心中ではさまざまな期待と不安が入り混じっておりますが、これまで以上に西日本地区を盛り上げていけるよう、精一杯営業活動に励む所存ですので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

本来であればいち早く大阪へ移動し、西日本地区のお客さま、販売店さまの所へご挨拶に伺わなければならない所ではございますが、新型コロナウイルスによる非常事態宣言に伴い、本稿執筆中の4月末時点においても未だ着任できずにいるこの状況を、今は非常にもどかしく感じております。これが早期に収束し、西日本地区の景気V字回復の為に大いに駆けずり回れる日が早く訪れることを願ってやみません。



西日本ソリューションセンター
副センター長

長田 俊哉

変化に順応

日頃より格別のご愛顧とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、私共を取り巻く環境は急激に変化し、経済活動も併せてスピードを上げて変化しております。この変化に対し順応した体制がとれるよう微力ながら頑張りたいと思います。

現在の経済は複雑多岐に世界と関係しているため、広



い視野を持ち業務に取り組むことが求められています。日本国内では人手不足・情報通信技術などの課題はまだありますが、「お客さまの安心と成長」を念頭に置き、そのためには「挑戦・誠実・共創・スピード・働く喜び」をもとにし、日々の営業活動に取り組みたいと思っております。

今後ともご支援・ご鞭撻、よろしくお願ひ申し上げます。



東日本ソリューションセンター
センター長

島田 光雄

エンジニアリング力に磨きをかける 新・自動盤部が発足します

2020年4月1日より、佐久事業所を拠点としてMC20シリーズ、GNシリーズの生産・出荷・サービスを担当する「新・自動盤部」が発足しました。これらの製品は、バー材を対象とした自動盤と比較しチャック、刃具、周辺装置について、お客さま毎の専用仕様のボリュームが多く「エンジニアリング型」



執行役員 営業本部 副本部長
新・自動盤部 部長
柳平茂夫

製品と呼ぶことができ、一方、本社で生産しているCincomは「量産型」製品と呼ぶことができます。この2つの製品群をスムーズにお客さまにお届けし保守サービスをさせていただくためには、それぞれに適した生産方式やサービス対応を展開する必要があるとの判断に至りました。

エンジニアリングとは『科学を実用化し、人間の生活に役立てることを目的とする技術（出典：早稲田大学HP）』と定義できます。この意味でCincomは、予めエンジニアリングを施した標準仕様＋各種オプションを組み合わせることで、大部分の機能・性能を実現しています。それに対して新・自動盤の製品群は、お客さま毎のニーズに対して、工場で、個別の仕様ごとにエンジニアリングを施す必要があるのです。言い換えると、仕様決定

から設計、そして工場での生産のプロセスの全てを個別に「丹念に作り込む」必要があります。新・自動盤部では、このエンジニアリング力に磨きをかけ、お客さまのご期待にお応えできるよう邁進してまいります。



お客様のニーズに応える製品・サービスを目指して！

今年4月に(株)ミヤノ・サービス・エンジニアリングはシチズンマシナリーが吸収合併し、新たに組織の一員となりました「多軸エンジニアリング部」です。合併後も、事業内容は、そのまま継承され、多軸自動盤の製造及びオーバーホール並びにアフターサービスを担当、多軸事業に特化してコン



多軸エンジニアリング部 部長
角田 信明

パクトで小回りの利く体制を維持しております。

現在、生産している機種は、16mmサイズの6軸自動旋盤MM-A16と26mmサイズのG6-26N。MM-A16は、小径大量加工に適しており、バー仕様だけでなく、最近では、ローダーも含めたコレットチャッカー機として素形材の加工にも対応しています。また、NC装置（オプション）の搭載も可能であり、成形バイトに頼っていた複雑形状やより高精度な加工も可能にしました。G6-26Nは、標準でNC装置を搭載し、MM-A16同様により高精度な加工を実現しました。数少ない製品ラインナップではありますが、お客様の要望に応え、価値ある製品・サービスを提供いたしますので、引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。



顧客支援ICT推進室の新設と活動方針について

— デジタル技術、ICTを活用したアフターサービスでお客さまを支援します



オンラインによるNCスクールの質問対応の様子

4月1日より「顧客支援ICT推進室」を新設いたしました。2012年から加工技術や加工アプリケーションをICT (Information & Communication Technology) を活用した alkapplysolution による展開やスタッフによるNCスクールや加工サロン、サテライト講習会などさまざまなサービスをソリューション推進部の中で提供してまいりました。最近では、お客さまにおいてもIoTやAIなど革新的なデジタル技術の重要性への認識の高まりや実用化、利活用への取り組みが聞かれるようになっていきます。

工作機械のデジタル革新はもとより、それを利用するお客さまのさまざまなお仕事の中においてもデジタル化の推進は必要不可欠であり、金属加工業界のみならず製造業全体の課題と認識しています。そして、弊社製品を安全に安心して効率よくお使いいただくためには、機械を購入いただいた後のサポートやアシストの強化が重要と考えており、スタッフによるソリューション提供に磨きを掛けつつデジタル化技術を融合した新たなソリューションアイテムの創出が求められていると考えています。そこで、こ

れまでの経験をもとにお客さまのサポート対応を強化すべく顧客支援ICT推進室の「使命」と「活動方針」を定めました。

直近では、“Stay home”や“3密回避”の支援としてオンラインでのNCスクールを新設し開催しています。また、自宅やデスクに居ながらNCプログラミングをeラーニング形式で手軽に学習できる alkartschool のWeb受講料の半額キャンペーンなどを展開しています。今後もお客さまに役立つ様々なソリューションアイテムを提案させていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



顧客支援ICT推進室 室長

松丸 肇

使命

Cincom 製品、Miyano 製品、新・自動盤製品を安全に安心して快適に効率よくお客さまにお使いいただけるように、お客さまと私たちと全世界の知識、技術、ノウハウを融合させ、先進的なICT技術、デジタル技術などを活用し、お客さまを支援することを使命とします。

活動方針

- 1 お客さまが手軽に使い、今日にでも役立つソリューションアイテム・コンテンツの提案
- 2 デジタライゼーションを活用した革新的なアフターフォローアイテム・コンテンツの創造と提案
- 3 Cincom製品、Miyano製品、新・自動盤製品に連動した機能やアイテム類の創出
- 4 必要とするアイテムや機能を、お客さま自ら選択容易なソリューション機能の構築と提案
- 5 リーズナブルな価格でのソリューションアイテムの提案

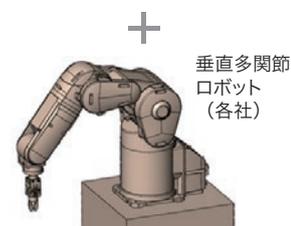
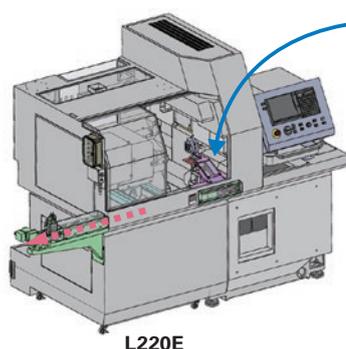
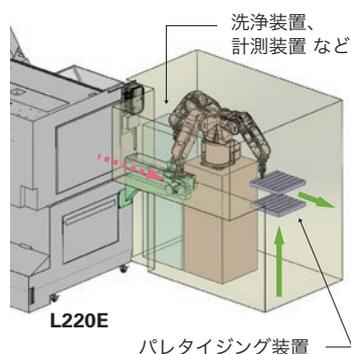
省人化のご提案

パートナー企業さまと連携し、さまざまな自動化ソリューションをご用意しています。(営業担当にご相談ください。)

Cincom L20

バー加工後のワークの姿勢を保持したまま機外へ搬送し、自由度の高い多関節ロボットによりハンドリングします。

ワークの落下や衝突のキズを防止しながら、バーフィーダによる材料供給から、計測、洗浄、箱詰めなどの後工程まで、人手によらず完全自動化が可能です。



Miyano BNJ51 SY6

バーマシンBNJに機内ローダ&材料ストックカを搭載し、ブランク材の長時間無人加工に対応します。

背面側のアンローダ&ワーク整列排出装置と組み合わせれば、計測、洗浄、箱詰めなど、後工程まで含めた自動化に対応可能です。2主軸・2タレットのチャッカーマシンとして高い生産性を発揮します。



材料ストックカ部



シングルアーム機内ローダ (正面側)

Cincom M、Lシリーズなど

生産性向上に貢献する高圧クーラント装置に、逆洗式フィルターを採用しメンテナンスの負担を軽減します。

刃具寿命や加工品質、サイクルタイムを向上する高圧クーラント装置のフィルター交換を不要とし、保守ご担当者さまを煩わしい作業から解放します。フィルター交換にかかる無駄時間、機械停止時間の排除や労働環境の改善、また産業廃棄物とその処理費用の削減などに寄与します。



多系統対応高圧クーラント装置
(専用拡張タンクが必要です)

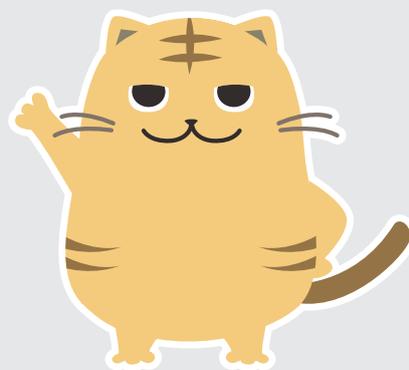


逆洗機能付きカートリッジフィルター

NCスクールを オンラインで 始めました

加工プログラミングの講習会「NCスクール」が、
ご自宅や工場のパソコンから
オンラインで受講できるようになりました。
詳しくは下記番号へお問い合わせください。

- ・ビギナーコース
- ・Cincom プログラム入門コース
- ・Cincom 2系統コース など



日程などのお問合せはこちら



0570-006644

※音声ガイダンスメニューの③を選択し、次に②を選択してください

シチズンマシナリー株式会社

営業本部	〒389-0206	長野県北佐久郡御代田町御代田4107-6	Tel.0267-32-5901	Fax.0267-32-5908
東北営業所	〒981-3117	宮城県仙台市泉区市名坂字原田169-2	Tel.022-773-6870	Fax.022-773-6873
東日本S C	〒359-0001	埼玉県所沢市下富840	Tel.04-2943-6363	Fax.04-2943-6660
長野営業所	〒389-0206	長野県北佐久郡御代田町御代田4107-6	Tel.0267-32-5901	Fax.0267-32-5908
諏訪営業所	〒392-0012	長野県諏訪市四賀赤沼1642-1 Mビル2F	Tel.0266-57-2225	Fax.0266-57-2226
浜松営業所	〒433-8122	静岡県浜松市中区上島6-1-33	Tel.053-471-4311	Fax.053-474-7166
名古屋S C	〒457-0841	愛知県名古屋南区豊田1-26-5	Tel.052-694-1211	Fax.052-694-1210
西日本S C	〒577-0824	大阪府東大阪市大蓮東4-11-24	Tel.06-6727-3681	Fax.06-6727-2709
広島営業所	〒733-0012	広島県広島市西区中広町3-4-1	Tel.082-293-5455	Fax.082-293-5536

URL: <https://cmj.citizen.co.jp>
E-mail: sales-cmj@ml.citizen.co.jp

※本カタログの記載内容は、お断りなく変更することがありますので、ご了承ください。※本製品は、日本政府の外国為替及び外国貿易法により、戦略物資など輸出規制品に該当する可能性があります。本製品を輸出する場合は、弊社販売担当者にお問い合わせください。※本製品を移設、転売、再輸出する場合、事前にシチズンマシナリー株式会社宛にご連絡をお願いします。弊社による確認が行われない限り、当該製品の運転を行うことはできません。※CITIZEN、Cincom、Miyano、LFVtechnology、alkaplyは、シチズン時計株式会社の登録商標です。